

## 第22回 情報統合型研究交流会

実用的な統計モデルを構築し、それを運用する  
ために必須となる3つの方法

## 金子 弘昌

東京大学大学院工学系研究科  
化学システム工学専攻 船津研究室 助教

2016

11 / 28 9:30 – 10:30

NIMS千現本館8階中セミナー室

近年、大規模データの高速処理の実現、ディープラーニング・人工知能技術等の発展、扱いやすいプラットフォームの登場によって統計的にデータを解析することが再注目されている。しかし、何らかの統計的数理モデルを構築することは容易になった一方、構築されたモデルが有意義に活用・運用されているわけではない。私はこれまで定量的構造活性・物性相関、材料設計、製造プロセス等の様々な種類のデータセットを対象にして、モデル構築およびモデルの利活用、そして運用に関する研究を推進してきた。今回はその研究成果として実用的な統計モデルを構築し、それを運用するために必須となる3つの方法を紹介する。そして今後の統計モデルのあり方について参加者の皆様と議論したい。

世話人： 知京豊裕(内4725)、寺倉清之

連絡先： 拠点運営室

(内線2472, [mii-i@ml.nims.go.jp](mailto:mii-i@ml.nims.go.jp))